

小美玉市まちづくり構想の背景と目的

茨城空港は、これまで旅客数並びに就航路線を着実に増やしていますが、茨城空港利用者にも長く小美玉市に滞在してもらえかが課題となっています。小美玉市にとっても、魅力ある観光資源などの周知・PRを推進し、地元への経済波及効果をもたらすことが期待されています。

「小美玉市まちづくり構想」(令和2年3月)(以下、基本構想)は、航空自衛隊百里基地並びに茨城空港を核として交流人口の拡大や地域振興の活性化に取り組み、茨城空港や小美玉市の認知度の向上を図るとともに、飛行場と地域住民が共存できるまちづくりを目指すことを目的とします。

小美玉市まちづくり構想の概略

基本計画の策定にあたっては、基本構想に基づいた具体の整備方針を示すものとします。基本構想においては基本理念を「ひとが輝き、街がきらめく、未来にはばたくゲートウェイシティ」とし、施設の利用の方向性を次のように示しています。

空港利用者が長時間滞在できる施設

市民と自衛隊員が交流できる施設

大人から子供まで楽しめる施設

みどり豊かな環境と調和する施設

未来の街並みを感じさせる施設



【基本理念】

ひとが輝き、街がきらめく、未来にはばたくゲートウェイシティ

そらら拡張構想の概要

本計画は基本構想に示されている4つの整備構想のうち、「そ・ら・ら」の機能拡張を図るそらら拡張構想について、基本計画を策定し、その実現にむけて具体の方向性を定めるものです。



施設整備の理念とコンセプト

本計画では、小美玉市の産業振興、観光の重要な資源として地元への大きな経済波及効果が期待できる航空自衛隊百里基地・茨城空港の立地を活かしながら、来街者を呼び込むだけでなく、市民が将来にわたって愛着をもって利用でき、市民の生活の中に根付く施設の整備を展開し

計画コンセプト

街の要となる空のえき「そ・ら・ら」の拡張と機能強化

～地域の『農』と『食』から持続可能な『地域再生』を目指す～

基本目標

施設整備の理念及び計画コンセプトを踏まえ、「そ・ら・ら」拡張整備の目標を下記の通り定めます。

基本目標1

地域の生活の中に共存する体験型施設

市民にとって「あると嬉しい施設」であり、体験型の機能と日常利用できる機能を強化し、市民に長く愛される施設を目指します。

非日常(ハ
レの日)の
機能

日常(ケ
日)の機能

基本目標2

地域の活力・魅力を育てる体験型施設

人口減少に歯止めをかけるため、体験型の機能を強化し、「地域の稼ぐ力・地域を生かす力」となる施設を目指します。

産業を伝え振興する施設

魅力を高める施設

チャレンジできる施設

基本目標3

広域から近隣まで様々な交流を促進する体験型施設

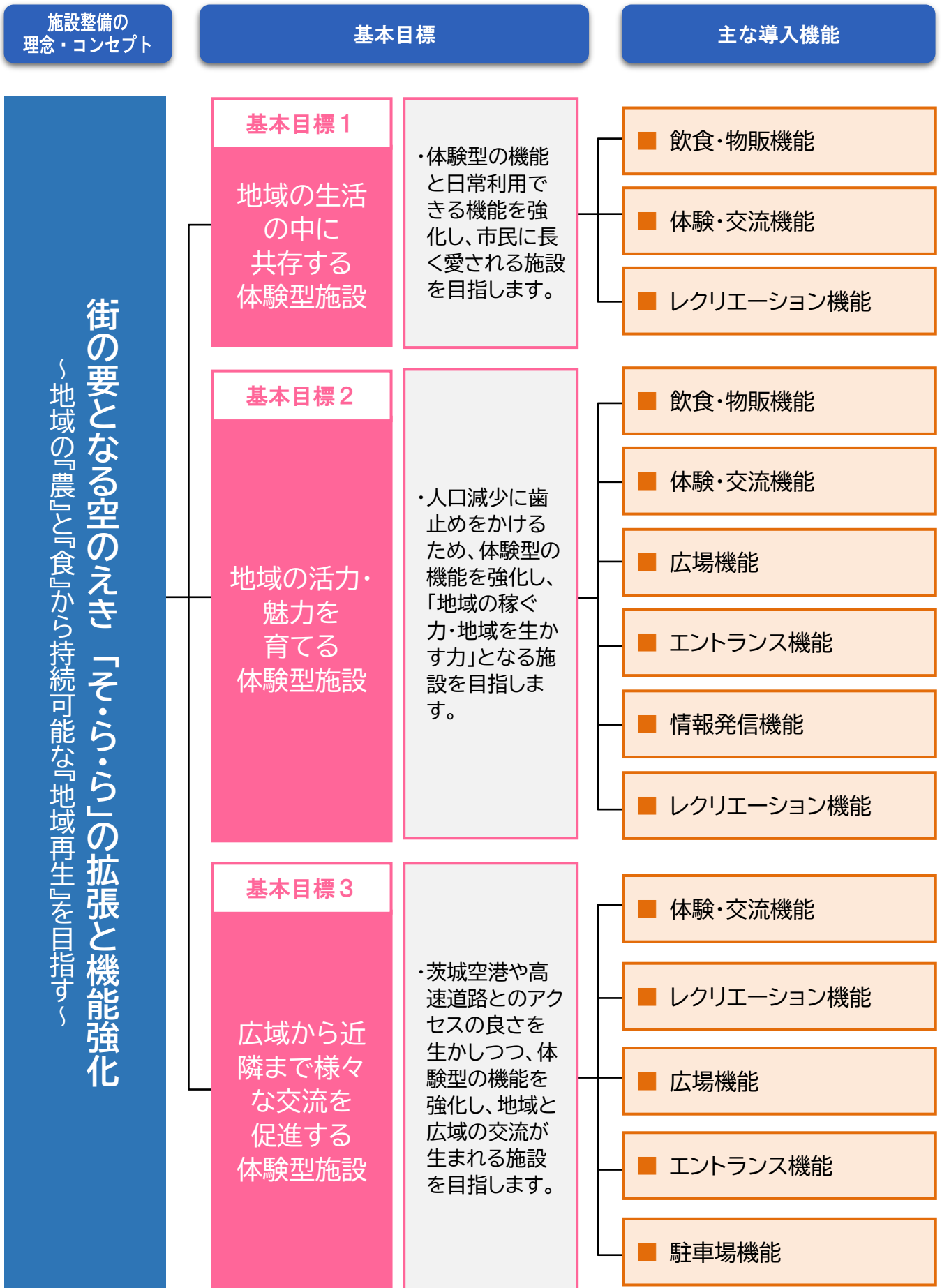
茨城空港や高速道路とのアクセスの良さを生かしつつ、体験型の機能を強化し、地域と広域の交流が生まれる施設を目指します。

地域の人が楽しめる
コンテンツ

空のえき
そ・ら・ら

広域からの
来街者との
交流

「そ・ら・ら」拡張の方向性の検討を踏まえ、下図の通り計画体系として整理します。



既存エリア、拡張エリアの土地利用方針

現在「そ・ら・ら」の各種施設が立地する【既存エリア】と、今回機能強化を図るため必要な【拡張エリア】を想定しながら、それぞれの土地利用の方針を整理します。

【既存エリア】

- ・茨城空港アクセス道路に面する既存エリアについては、本施設の象徴性を高め、多くの人を迎え入れる本施設の玄関口としての役割を担っています。
- ・これまで以上に多くの市民に親しまれ、市外県外からも多くの人々が訪れる地域活性化の拠点として機能していくため、既存施設の機能強化とともに、新たな体験・交流機能の配置を図っていきます。

【拡張エリア】

- ・既存エリアに隣接する拡張エリアについては、主要な地域産業である「農」を活かしながら、「そ・ら・ら」の機能を総合的に向上し、体験や交流を通じた地域再生拠点としての魅力を高めていく役割を担っています。
- ・「そ・ら・ら」の機能追加に伴う利用者の増加に対応するとともに、臨時駐車場の集約的配置を行いながら、利用者を迎え入れるための駐車場の配置を図っていきます。



広場機能

新たな施設整備

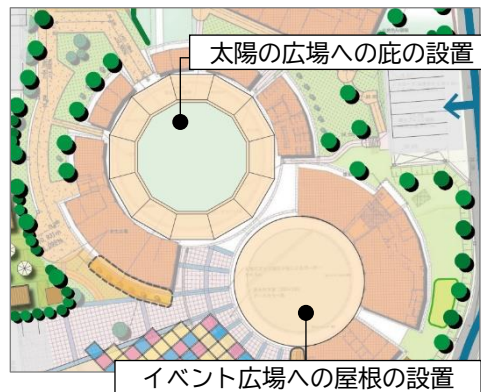
- ①おおぞら広場

既存施設の機能強化

- ②マルシェ広場
- ③太陽の広場
- ④イベント広場
- ⑤体験広場



▲おおぞら広場配置イメージ



▲太陽の広場配置イメージ

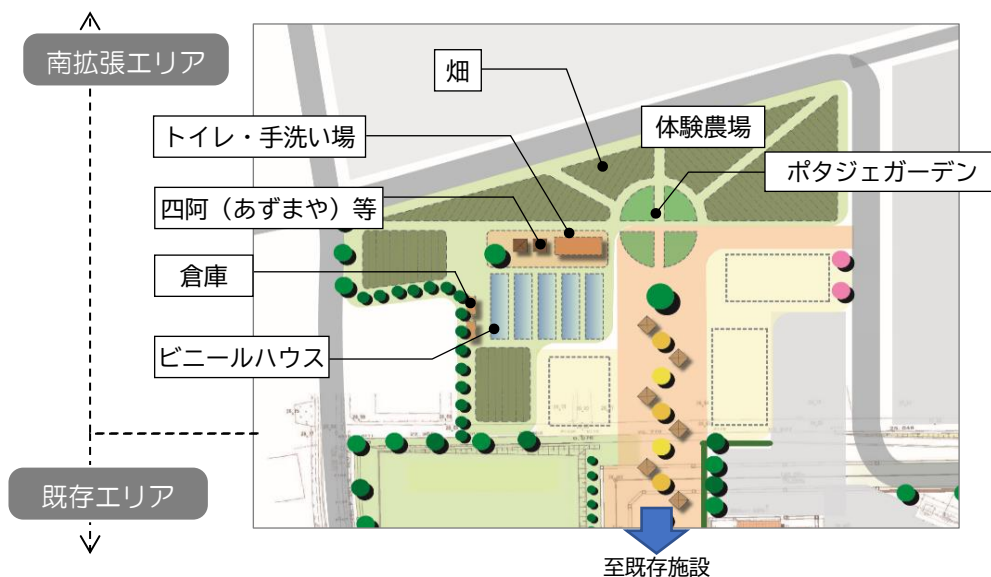
体験・交流機能

新たな施設整備

- ⑥各種工房
- ⑦体験農場

既存施設の機能強化

- ⑧そ・ら・らホール
- ⑨ふれあい牧場



▲体験農場配置イメージ

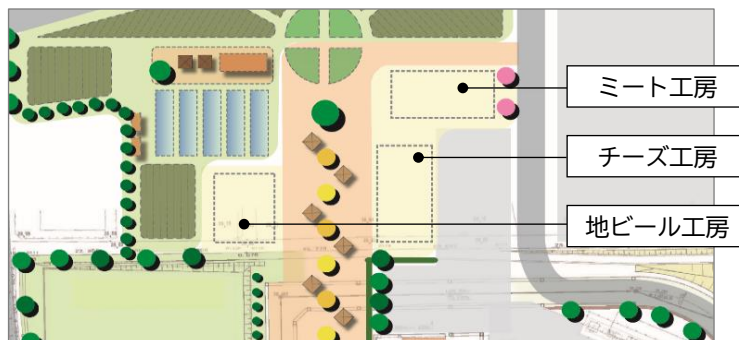
飲食・物販機能

既存施設の機能強化

- ⑩直売所
- ⑪物産館、レストラン、チャレンジショップ

新たな施設整備

- ⑫各種工房

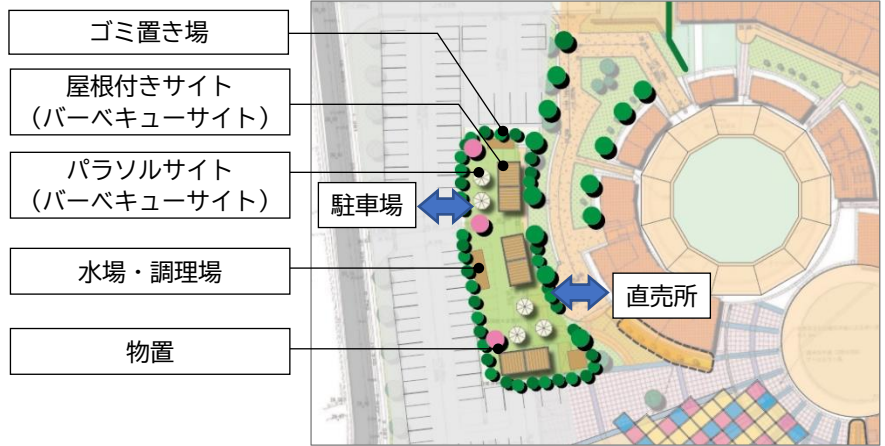


▲各種工房配置イメージ

レクリエーション機能

新たな施設整備

- ⑬BBQ広場
- ⑭サイクルステーション



▲BBQ広場配置イメージ

情報発信機能

既存施設の機能強化

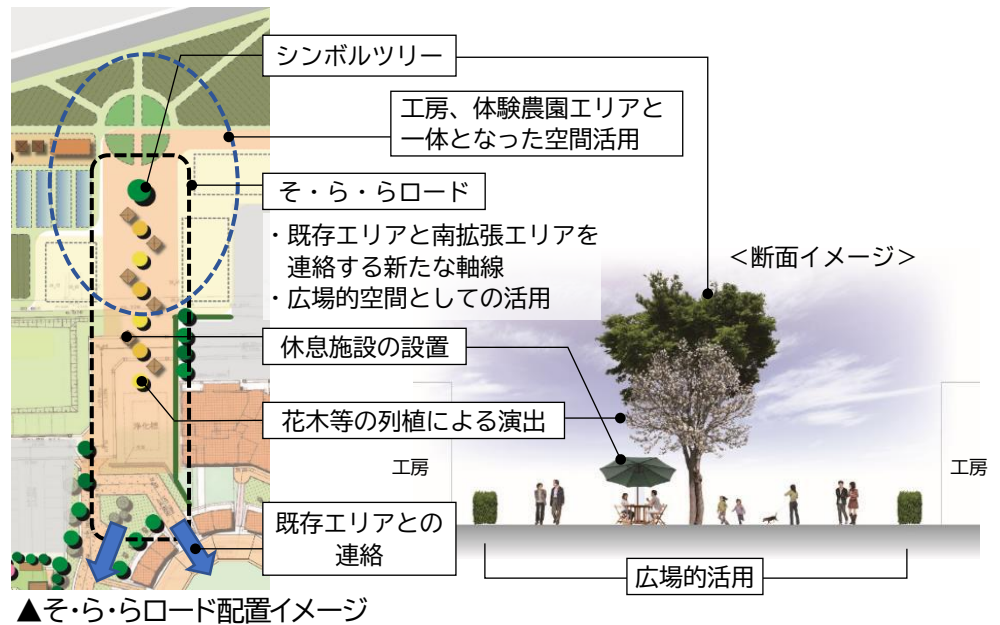
- ⑮ウェルカムセンター
- ⑯そ・ら・らホール



エントランス機能

新たな施設整備

- ⑰エントランス空間
- ⑱そ・ら・らロード



▲そ・ら・らロード配置イメージ

駐車場機能・調整池機能

新たな施設整備と既存施設の機能強化

- ⑲身体障がい者用駐車場、自動二輪駐車場
- ⑳一般駐車場、大型駐車場、臨時駐車場
- ㉑調整池

■総合施設整備計画図



施設整備面積

各種施設の配置、規模等については、今後の実施計画・実施設計の段階において詳細な検討を行いながら確定していくものとします。なお、施設別面積の内訳や施設整備前後の施設面積を以下に示します。

施設・エリア	面積	備考
空のえき棟（既存）	1,876 m ²	延べ床面積
サイクルステーション増築部分	187 m ²	
乳製品加工施設・ヨーグルトハウス	1,072 m ²	延べ床面積
太陽の広場・イベント広場	1,396 m ²	
マルシェ広場・おおぞら広場	3,900 m ²	
調整池	4,065 m ²	既存部約 1,370 m ² +575 m ² 、拡張部約 2,120 m ²
体験農場・工房エリア	4,540 m ²	
BBQ広場	815 m ²	
そ・ら・らロード	2,300 m ²	既存部約 1,410 m ² 、拡張部約 890 m ²
駐車場等	24,710 m ²	
その他	7,002 m ²	
合計(拡張後全体施設面積)	51,863 m ²	既存施設面積:25,267 m ² 拡張施設面積:26,596 m ²

事業スケジュール

